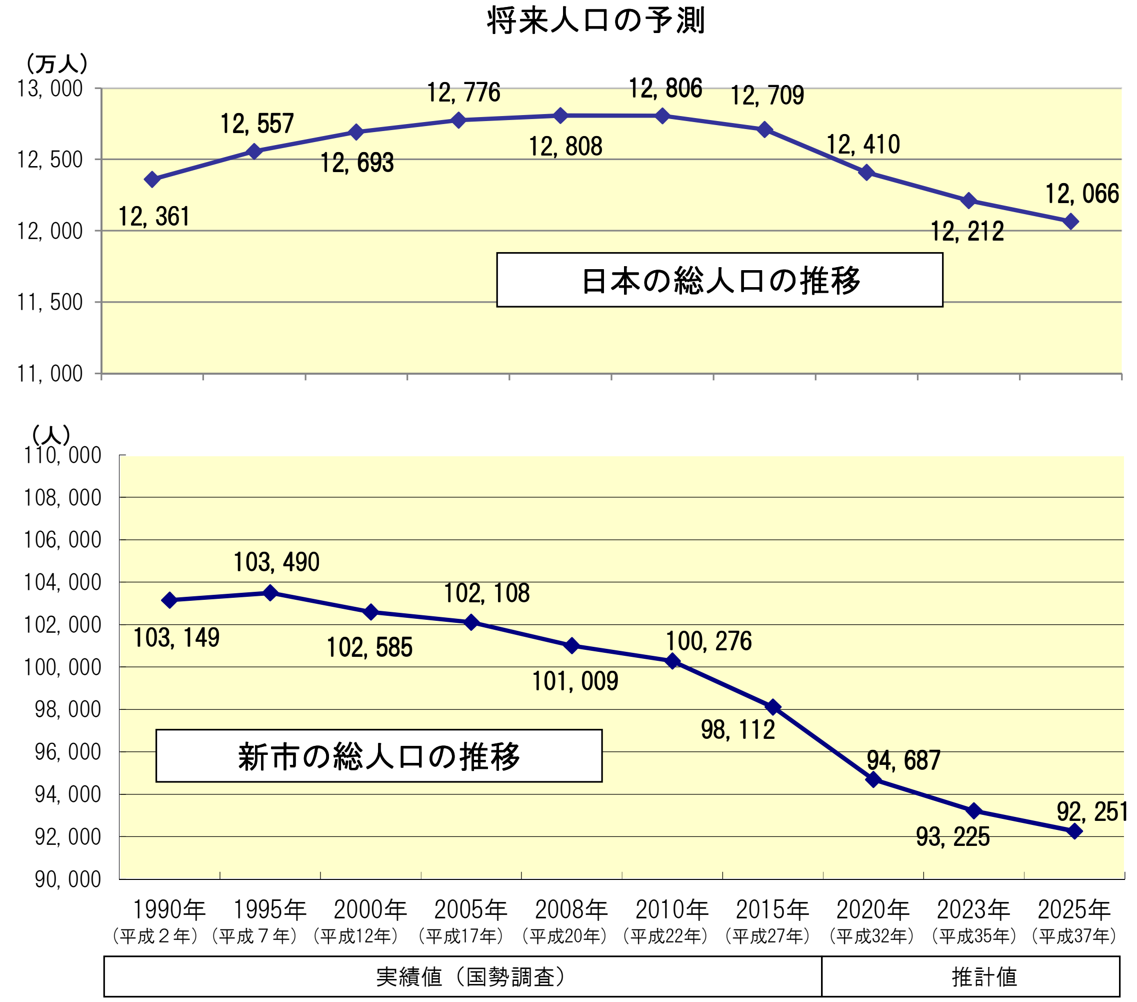
資料⑤

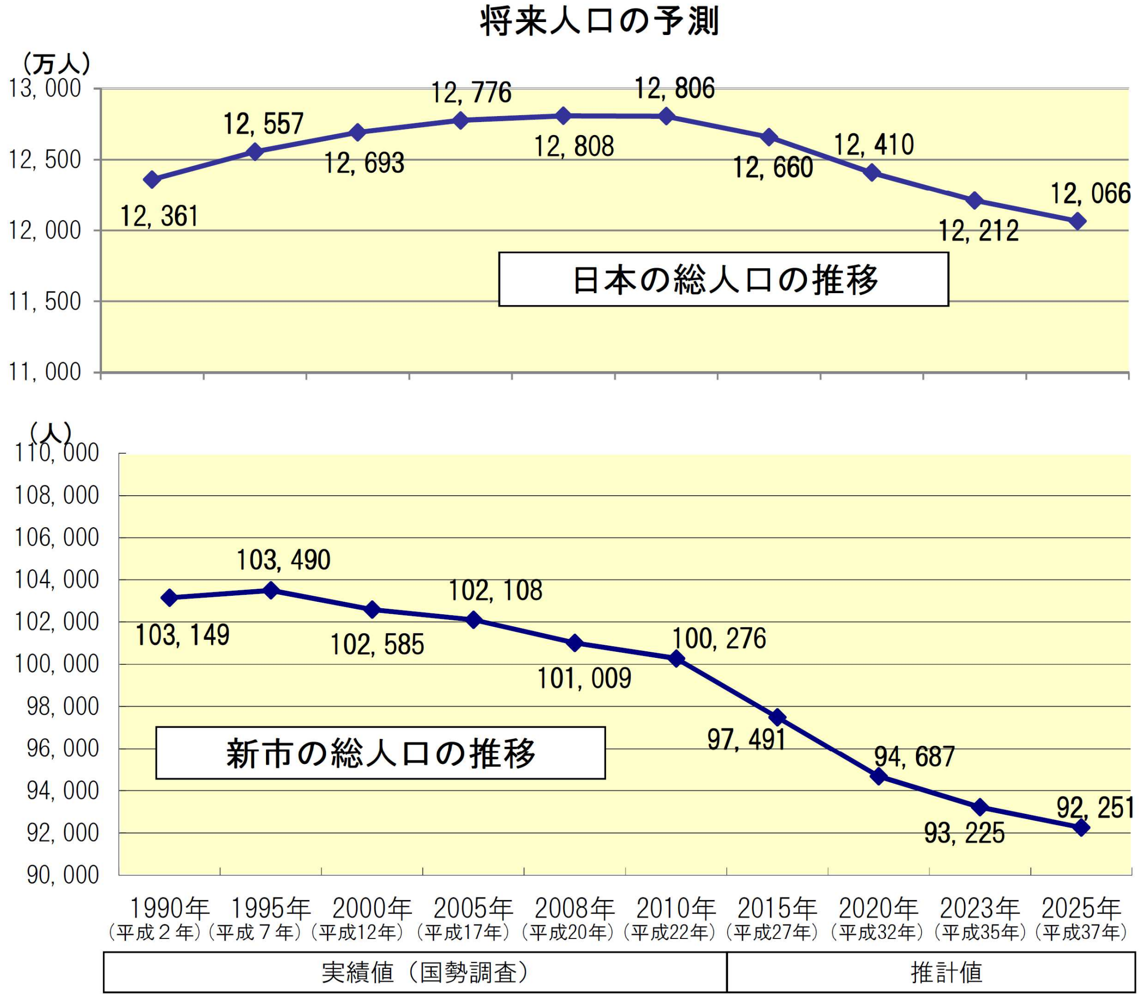
島田市・川根町まちづくり計画　新旧対照表

<table>
<tr><th>頁</th><th>項目</th><th>変更後（新）</th><th>変更前（旧）</th></tr>
<tr><td>4</td><td>２．新市の概況
(3) 面積</td><td>新市は、東西約 23 ㎞南北約 31km で、総面積は、315.70ｋ㎡となっており静岡県全体の面積の約 4.1％を占めています。また、新市の総面積の３分の２が森林であり、豊かな自然に恵まれた地域となっています。</td><td>新市は、東西約 23 ㎞南北約 31km で、総面積は、315.88ｋ㎡となっており静岡県全体の面積の約 4.1％を占めています。また、新市の総面積の３分の２が森林であり、豊かな自然に恵まれた地域となっています。</td></tr>
<tr><td>10</td><td>３．主要指標の見通し
(1) 人口の推移</td><td>



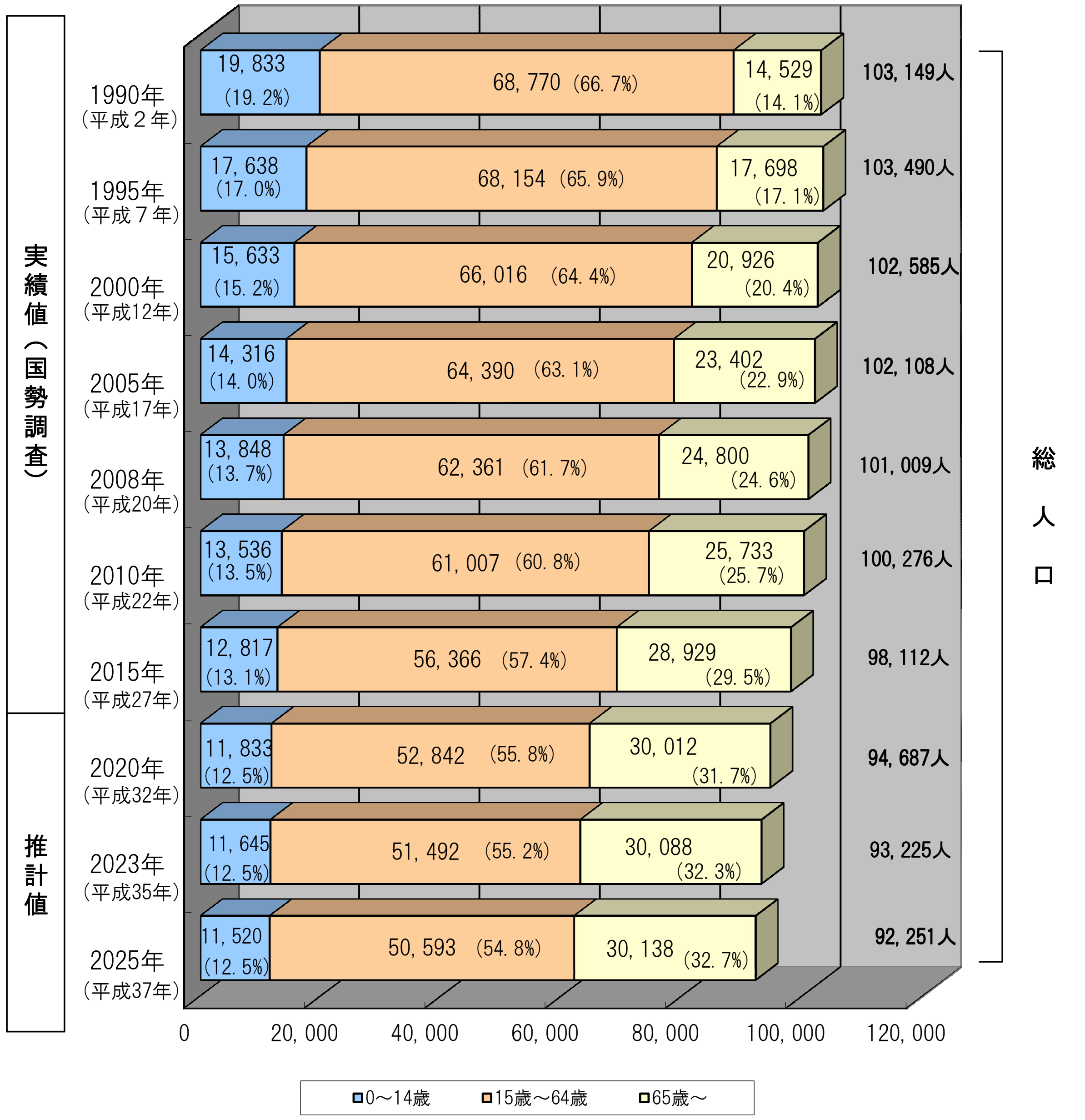
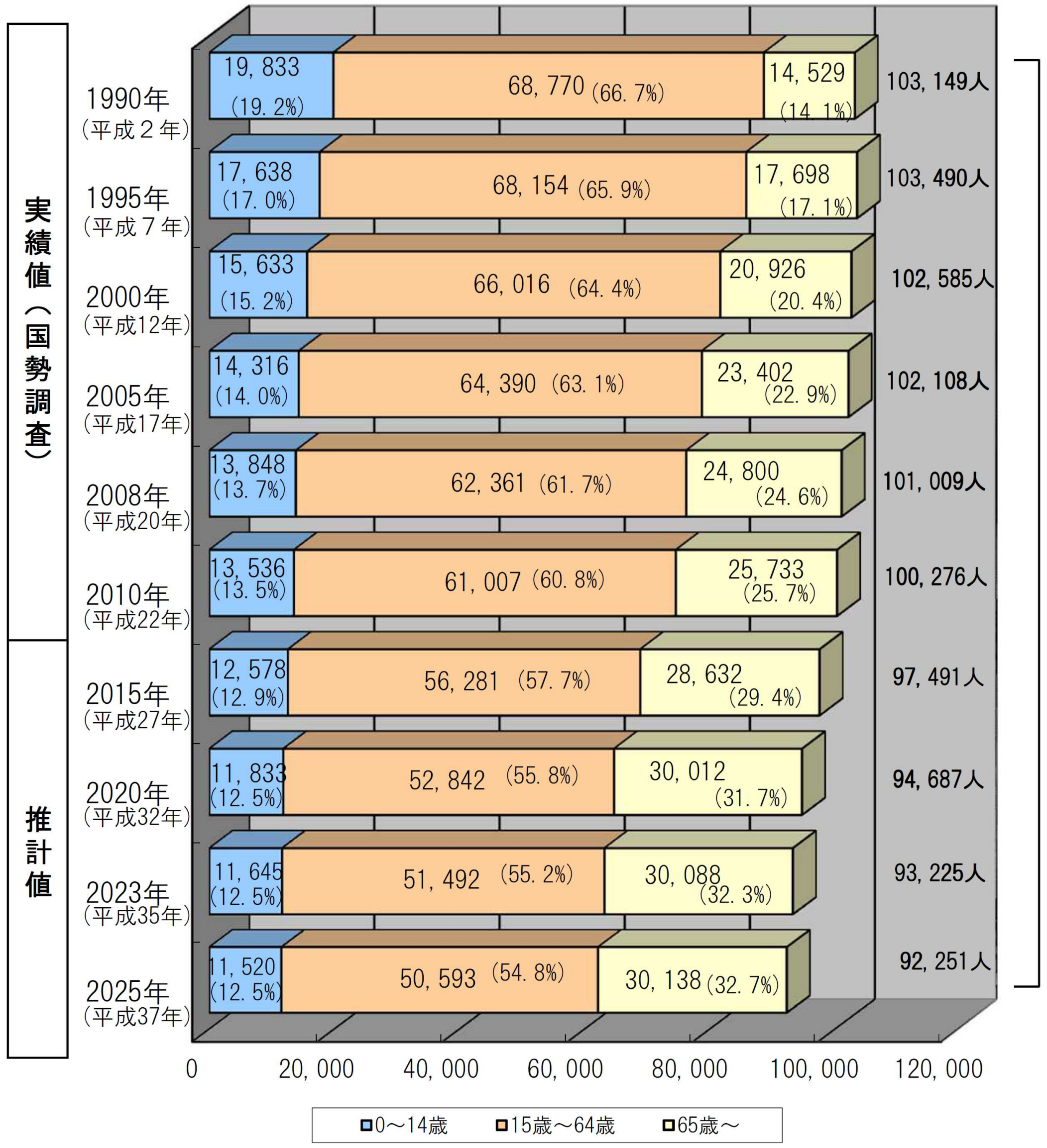
・平成22年までの数値は、国勢調査実施時はその実績値とし、中間年である平成20年は、平成17年と平成22年の直線補完により算出している。
・平成23年以降の数値については、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの目標値と整合を図った。

</td><td>



・平成22年までの数値は、国勢調査実施時はその実績値とし、中間年である平成20年は、平成17年と平成22年の直線補完により算出している。
・平成23年以降の数値については、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの目標値と整合を図った。

</td></tr>
</table>

頁	項目	変更後（新）	変更前（旧）
11	３．主要指標の見通し (1) 人口の推移 「男女計年齢３区分別人口割合」のグラフ	年齢３区分別人口割合  ＊1990年、2000年の各総人口は年齢不詳分を含む。 ＊2010年以降は、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの目標値と整合を図った。 予測の考え方；総人口については、国立社会保障・人口問題研究所が公表しているコーホート要因法による推計値を採用している。 コーホート要因法は、ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態率や移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算する方法である。 年齢３区分別人口については、2015 年までは国勢調査実績値とし、2020 年以降は、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 27 年 10 月策定）の目標値と整合を図った。	年齢３区分別人口割合  ＊1990年、2000年の各総人口は年齢不詳分を含む。 ＊2010年以降は、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの目標値と整合を図った。 予測の考え方；総人口については、国立社会保障・人口問題研究所が公表しているコーホート要因法による推計値を採用している。 コーホート要因法は、ある年の男女・年齢別人口を基準として、ここに人口動態率や移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を計算する方法である。 年齢３区分別人口については、2010 年までは国勢調査実績値とし、2015 年以降は、島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成 27 年 10 月策定）の目標値と整合を図った。

頁	項目	変更後（新）	変更前（旧）
12	4．まちづくりの基本方針 (1) 新市の主要課題	**②“お茶”の素材を最大限に活かす地域振興** 当地域で生産される“お茶”は、茶どころ静岡県にあって約 15%の生産量を占めており、関連企業の立地やお茶の郷（現ふじのくに茶の都ミュージアム）などの集客施設も整備され、当地域を代表する素材として、生活や文化に溶け込んできました。近年、お茶の持つ効能が一層注目されており、今後のまちづくりにあっても、この“お茶”を産業振興や観光・交流、教育・文化・健康づくりなどの住民生活の向上に最大限に活かすことは必須の課題です。	**②“お茶”の素材を最大限に活かす地域振興** 当地域で生産される“お茶”は、茶どころ静岡県にあって約15%の生産量を占めており、関連企業の立地やお茶の郷などの集客施設も整備され、当地域を代表する素材として、生活や文化に溶け込んできました。近年、お茶の持つ効能が一層注目されており、今後のまちづくりにあっても、この“お茶”を産業振興や観光・交流、教育・文化・健康づくりなどの住民生活の向上に最大限に活かすことは必須の課題です。
22	5．新市の主要施策 （1）重点プロジェクト 事業内容	**●大井川の恵みによって培われてきたお茶文化の伸展** **キーワード　お茶** 大井川に誰からでも見える市民の心の懸け橋を架けることにより、江戸時代以前から脈々と培われてきた歴史・文化の更なる交流を促進させ、新たな歴史の１ページを創出します。 「（仮称）お茶の歴史とふるさと街道」として島田茶・金谷茶・川根茶の特性を活かし、尚一層のブランド化を推進するとともに、蓬莱橋、川越遺跡、旧東海道石畳、志戸呂焼、川根温泉、また、県の施設であるふじのくに茶の都ミュージアムなどとのネットワーク化を図り、お茶の歴史と文化等を情報発信します。また、新たに観光、産業、医療、教育分野のほか、大学や研究機関など、民・産・学・官と連携したコンソーシアムを確立させ、お茶に秘められたあらゆる可能性を世界に発信できるまちづくりをめざします。	**●大井川の恵みによって培われてきたお茶文化の伸展** **キーワード　お茶** 大井川に誰からでも見える市民の心の懸け橋を架けることにより、江戸時代以前から脈々と培われてきた歴史・文化の更なる交流を促進させ、新たな歴史の１ページを創出します。 「（仮称）お茶の歴史とふるさと街道」として島田茶・金谷茶・川根茶の特性を活かし、尚一層のブランド化を推進するとともに、蓬莱橋、川越遺跡、旧東海道石畳、お茶の郷、志戸呂焼、川根温泉などとのネットワーク化を図り、お茶の歴史と文化等を情報発信します。また、新たに観光、産業、医療、教育分野のほか、大学や研究機関など、民・産・学・官と連携したコンソーシアムを確立させ、お茶に秘められたあらゆる可能性を世界に発信できるまちづくりをめざします。
28	5．新市の主要施策 （2）基本方針と主要施策 3）産業がいきいきと活発なまち	＜観光の振興＞ ・ 川越遺跡、旧東海道石畳、蓬莱橋、大井川鐵道のＳＬ、志戸呂焼、川根温泉、また、県の施設であるふじのくに茶の都ミュージアムなどの観光資源を活用し、観光名所としての機能の充実を図ります。また、これらの観光資源を結びつけ、富士山をはじめとする県内の観光地との広域的な連携を図ることで、観光的魅力や集客力の増大を図ります。	＜観光の振興＞ ・ お茶の郷や川越遺跡、旧東海道石畳、蓬莱橋、大井川鐵道のＳＬ、志戸呂焼、川根温泉などの観光資源を活用し、観光名所としての機能の充実を図ります。また、これらの観光資源を結びつけ、富士山をはじめとする県内の観光地との広域的な連携を図ることで、観光的魅力や集客力の増大を図ります。
41	8．財政計画 (1) 前提条件	(1)　前提条件 財政計画は、合併後 16 年間（平成 20 年度から平成 35 年度）におけるまちづくりを進めるために、普通会計の歳入及び歳出を項目ごとに推計し、その計画を示すものです。 この財政計画は、平成 20 年度から平成 29 年度までは実績値（決算額）とし、平成 30 年度以降については、平成 28 年度の決算数値等を基礎としてこれまでの実績や中長期的な財政見通しを踏まえて策定しました。 歳入においては、現行の地方財政制度の改革や税制改革に留意し、また、歳出においては、高齢化の進展に伴う経費の増加等への対応を図るため、職員数の見直しによる人件費の削減、事務の効率化による物件費の削減など、合併による歳出の一層の削減効果を見込んで推計しています。	(1)　前提条件 財政計画は、合併後 16 年間（平成 20 年度から平成 35 年度）におけるまちづくりを進めるために、普通会計の歳入及び歳出を項目ごとに推計し、その計画を示すものです。 この財政計画は、平成 20 年度から平成 28 年度までは実績値（決算額）とし、平成 29 年度以降については、平成 27 年度の決算数値等を基礎としてこれまでの実績や中長期的な財政見通しを踏まえて策定しました。 歳入においては、現行の地方財政制度の改革や税制改革に留意し、また、歳出においては、高齢化の進展に伴う経費の増加等への対応を図るため、職員数の見直しによる人件費の削減、事務の効率化による物件費の削減など、合併による歳出の一層の削減効果を見込んで推計しています。

頁	項目
43	8．財政計画表

変更後（新）

1　歳入

（単位：百万円）

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	計
地方税	14, 981	14, 741	14, 397	14, 496	14, 281	14, 399	14, 465	14, 291	14, 576	14, 611	14, 448	14, 561	14, 548	14, 301	14, 354	14, 386	231, 836
地方譲与税	439	408	391	388	364	348	332	348	346	345	349	349	349	349	349	349	5, 803
利子割交付金等交付金	1, 498	1, 437	1, 425	1, 375	1, 286	1, 367	1, 512	2, 323	2, 041	2, 218	2, 088	2, 236	2, 484	2, 484	2, 484	2, 484	30, 742
地方交付税	4, 699	5, 275	5, 878	6, 305	6, 199	6, 037	5, 940	6, 058	5, 723	5, 516	5, 311	4, 892	4, 467	4, 565	4, 526	4, 501	85, 892
分担金及び負担金	1, 119	1, 163	1, 182	1, 162	1, 214	1, 514	1, 212	1, 211	1, 042	1, 012	1, 012	1, 012	1, 012	1, 012	1, 012	1, 012	17, 903
使用料及び手数料	520	586	560	574	697	561	557	580	500	453	453	453	453	453	453	453	8, 306
国庫支出金	2, 507	6, 628	3, 983	3, 827	3, 812	3, 873	4, 075	4, 385	4, 699	4, 701	5, 070	5, 128	5, 082	5, 148	5, 145	5, 227	73, 290
県支出金	2, 415	2, 232	2, 361	2, 320	2, 419	2, 858	2, 460	2, 555	2, 561	2, 993	2, 677	2, 700	2, 678	2, 700	2, 698	2, 727	41, 355
繰入金	989	391	396	503	574	643	894	722	613	872	1, 430	1, 694	1, 758	1, 695	2, 237	2, 129	17, 540
地方債	3, 708	3, 405	5, 174	2, 729	3, 861	4, 031	4, 252	3, 363	2, 656	2, 368	3, 892	5, 763	7, 184	3, 830	6, 358	3, 404	65, 978
諸収入・その他	2, 941	1, 521	1, 744	3, 355	3, 424	2, 350	2, 630	2, 422	3, 076	2, 784	2, 039	2, 066	2, 044	2, 035	2, 035	2, 035	38, 501
歳入合計	35, 816	37, 787	37, 491	37, 034	38, 131	37, 981	38, 329	38, 258	37, 833	37, 873	38, 770	40, 854	42, 059	38, 572	41, 651	38, 707	617, 146

変更前（旧）

1　歳入

（単位：百万円）

区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	計
地方税	14, 981	14, 741	14, 397	14, 496	14, 281	14, 399	14, 465	14, 291	14, 576	14, 096	13, 791	13, 767	13, 741	13, 345	13, 328	13, 314	226, 009
地方譲与税	439	408	391	388	364	348	332	348	346	345	347	347	347	347	347	347	5, 791
利子割交付金等交付金	1, 498	1, 437	1, 425	1, 375	1, 286	1, 367	1, 512	2, 323	2, 041	2, 063	2, 234	2, 462	2, 805	2, 805	2, 805	2, 805	32, 243
地方交付税	4, 699	5, 275	5, 878	6, 305	6, 199	6, 037	5, 940	6, 058	5, 723	5, 300	5, 183	5, 157	4, 814	4, 814	4, 814	4, 814	87, 010
分担金及び負担金	1, 119	1, 163	1, 182	1, 162	1, 214	1, 514	1, 212	1, 211	1, 042	1, 100	1, 100	1, 100	1, 100	1, 100	1, 100	1, 100	18, 519
使用料及び手数料	520	586	560	574	697	561	557	580	500	452	580	580	580	580	580	580	9, 067
国庫支出金	2, 507	6, 628	3, 983	3, 827	3, 812	3, 873	4, 075	4, 385	4, 699	4, 552	4, 592	4, 790	4, 309	3, 956	3, 954	3, 952	67, 894
県支出金	2, 415	2, 232	2, 361	2, 320	2, 419	2, 858	2, 460	2, 555	2, 561	3, 032	2, 798	2, 919	2, 626	2, 411	2, 409	2, 408	40, 784
繰入金	989	391	396	503	574	643	894	722	613	2, 213	1, 341	1, 341	1, 341	1, 341	1, 341	1, 341	15, 984
地方債	3, 708	3, 405	5, 174	2, 729	3, 861	4, 031	4, 252	3, 363	2, 656	2, 787	6, 271	7, 678	4, 357	2, 300	2, 300	2, 300	61, 172
諸収入・その他	2, 941	1, 521	1, 744	3, 355	3, 424	2, 350	2, 630	2, 422	3, 076	1, 306	1, 324	1, 318	1, 318	1, 318	1, 318	1, 318	32, 683
歳入合計	35, 816	37, 787	37, 491	37, 034	38, 131	37, 981	38, 329	38, 258	37, 833	37, 246	39, 561	41, 459	37, 338	34, 317	34, 296	34, 279	597, 156

頁	項目	変更後（新）	変更前（旧）
44	8．財政計画表	下記	下記

変更後（新）

2　歳出

（単位：百万円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	計
人件費	7, 160	7, 235	6, 884	6, 705	6, 771	6, 670	6, 675	6, 287	5, 131	5, 083	5, 129	5, 313	5, 572	5, 461	5, 634	5, 512	97, 222
扶助費	3, 712	3, 931	5, 265	5, 580	5, 654	5, 833	6, 399	6, 627	6, 693	7, 250	8, 255	8, 366	8, 292	8, 436	8, 430	8, 604	107, 327
公債費	4, 684	4, 309	4, 083	4, 526	4, 506	4, 521	4, 506	4, 506	4, 659	4, 553	4, 678	4, 636	4, 440	4, 372	4, 655	4, 685	72, 319
物件費	4, 798	4, 972	5, 110	5, 335	5, 332	5, 395	5, 585	5, 736	6, 598	6, 741	6, 957	7, 132	6, 773	6, 712	6, 700	6, 708	96, 583
維持補修費	236	235	221	213	201	222	234	226	199	178	227	218	243	262	205	290	3, 611
補助費等	2, 714	4, 053	3, 401	2, 508	2, 469	2, 379	2, 688	3, 291	2, 698	2, 360	2, 446	2, 571	2, 850	2, 870	2, 901	2, 819	45, 019
繰出金	3, 364	3, 136	3, 201	3, 312	3, 539	3, 603	3, 691	4, 105	4, 108	4, 165	4, 289	4, 350	3, 676	3, 719	3, 763	3, 808	59, 830
投資・出資・貸付金	478	545	268	338	324	377	502	445	517	337	913	1, 409	4, 074	787	881	753	12, 948
積立金	196	43	2, 400	1, 671	1, 876	1, 521	559	599	583	1, 110	400	0	0	0	0	0	10, 958
普通建設事業費	7, 556	8, 180	4, 045	4, 155	5, 704	5, 608	6, 215	4, 654	4, 730	4, 698	5, 475	6, 859	6, 138	5, 953	8, 482	5, 528	93, 980
歳出合計	34, 898	36, 639	34, 878	34, 343	36, 376	36, 129	37, 054	36, 476	35, 916	36, 475	38, 770	40, 854	42, 059	38, 572	41, 651	38, 707	599, 797

※平成20年４月１日榛原郡川根町と合併

変更前（旧）

2　歳出

（単位：百万円）

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	計
人件費	7, 160	7, 235	6, 884	6, 705	6, 771	6, 670	6, 675	6, 287	5, 131	5, 766	5, 295	5, 503	5, 558	5, 317	5, 317	5, 317	97, 591
扶助費	3, 712	3, 931	5, 265	5, 580	5, 654	5, 833	6, 399	6, 627	6, 693	7, 059	7, 104	7, 152	7, 203	7, 258	7, 313	7, 375	100, 158
公債費	4, 684	4, 309	4, 083	4, 526	4, 506	4, 521	4, 506	4, 506	4, 659	4, 628	4, 534	4, 402	4, 276	4, 192	4, 607	4, 801	71, 740
物件費	4, 798	4, 972	5, 110	5, 335	5, 332	5, 395	5, 585	5, 736	6, 598	7, 478	6, 710	6, 801	6, 733	6, 710	6, 710	6, 710	96, 713
維持補修費	236	235	221	213	201	222	234	226	199	155	276	276	378	366	366	366	4, 170
補助費等	2, 714	4, 053	3, 401	2, 508	2, 469	2, 379	2, 688	3, 291	2, 698	3, 467	3, 118	3, 202	3, 307	3, 361	3, 413	3, 469	49, 538
繰出金	3, 364	3, 136	3, 201	3, 312	3, 539	3, 603	3, 691	4, 105	4, 108	2, 860	3, 414	3, 427	3, 390	3, 316	3, 334	3, 353	55, 153
投資・出資・貸付金	478	545	268	338	324	377	502	445	517	453	2, 052	2, 213	2, 641	311	353	417	12, 234
積立金	196	43	2, 400	1, 671	1, 876	1, 521	559	599	583	174	400	400	400	400	400	400	12, 022
普通建設事業費	7, 556	8, 180	4, 045	4, 155	5, 704	5, 608	6, 215	4, 654	4, 730	5, 206	6, 658	8, 083	3, 452	3, 086	2, 483	2, 071	81, 886
歳出合計	34, 898	36, 639	34, 878	34, 343	36, 376	36, 129	37, 054	36, 476	35, 916	37, 246	39, 561	41, 459	37, 338	34, 317	34, 296	34, 279	581, 205

※平成20年４月１日榛原郡川根町と合併